

今後のジャストスコアの運用実績の検証方針等について（案）

1 現在の運用

脳血管内治療における救急医療体制（病院前救護）については、ジャストスコアを使用した脳血管内治療等に係る救急患者の搬送ルールを平成 31 年 4 月 1 日に開始し、その後、救急隊の入力項目を 21 項目から 7 項目に減らした改良版ジャストスコアの使用を令和 2 年 10 月 1 日に開始した。

平成 31 年度から令和 4 年度まで、広島市連合地区地域保健対策協議会「救急医療体制あり方検討委員会」内に「脳血管内治療における救急医療体制（病院前救護）検討部会」（以下「検討部会」という。）を設置し、ジャストスコアに関する効果検証や運用検討等を行い、本運用について一定の導入効果が確認できたこと、また、救急現場にも定着し、脳血管内治療を必要とする患者を迅速に当該治療の実施可能な医療機関へ搬送する救急医療体制を構築するという目的が達成されたことを踏まえ、令和 5 年度からは、本市に「脳血管内治療における救急医療体制（病院前救護）運用協議会」を設置し、効果検証や運用検討等について協議している。

2 今後の検証方針

脳血管内治療を必要とする患者を迅速に脳血管内治療の実施可能な医療機関へ搬送できる救急医療体制（病院前救護）を維持するためには、改良版ジャストスコアに関するデータ分析の結果を今後の運用に反映させる必要があることから、来年度も今年度と同様に、兵庫医科大学の臨床研究の協力を得ながら検証を行う。

なお、同研究は、現在のところ令和 9 年 3 月末までの患者を対象に研究を行うことになっている。

3 検証に係る改良版ジャストスコアの運用

改良版ジャストスコアを効果的に運用するためには、ジャストスコアを使用したデータが不可欠である。データが不十分な状態が続くと、最新の実績値が反映されない状態で搬送先が選定されるという事態が生じる。この課題を解決するため、来年度も引き続き、次のとおりデータ入力を行う。

- (1) 救急課において、脳卒中疑いの患者に対して、可能な限りジャストスコアを使用して判定を行い、その情報をもとに搬送先を調整する（令和 7 年度から救急隊のタブレットに加えて、スマートフォンでジャストスコアが使用できるようにアカウントを追加）。
- (2) 本市から各病院に対し、5 月末に、前年度の脳血管内治療を行った患者に関する詳細情報のデータ入力を依頼（入力期限：7 月末）する。
- (3) 各病院において、7 月末までに、前年度の脳血管内治療を行った患者に関する詳細情報のデータ入力を完了していただく。
- (4) 本市において、8 月中にデータ入力の不備等について確認を行い、9 月 1 日から前年度の実績値に基づく運用を開始する。